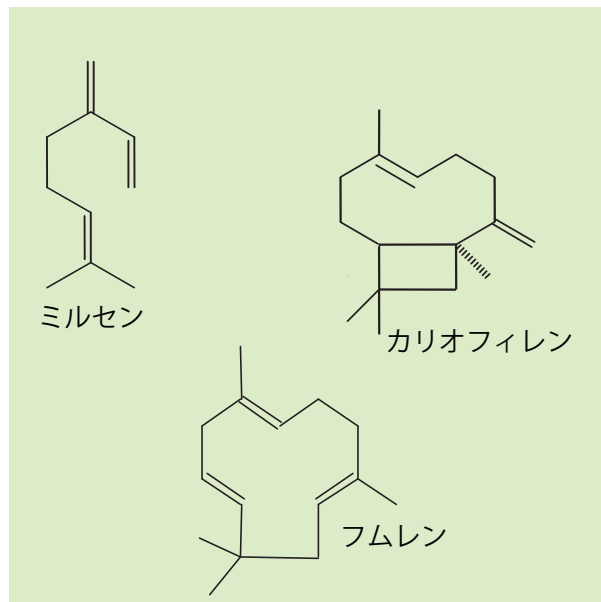


ホップオイル - タイプドライ

❖ 概要

- **ホップオイル - タイプドライ**はホップから作られ、ホップの持つすべての種類のエッセンシャルオイルが含まれています。
- **ホップオイル - タイプドライ**はビール醸造行程中のいくつかの段階において投与することが可能です、その結果として、通常のホッピング技法と比べてオイルの収率が改善されます。
- **ホップオイル - タイプドライ**はその使用方法に応じて微妙に変化し、心地良いホップのアロマをつくり出します。



❖ 製品規格

- **概要：** ほぼ無色透明な液体で、全ての種類のホップエッセンシャルオイルを含む。
- **イソアルファー酸：** < 0.1 %
- **アルファー酸：** < 0.1 %
- **ベータ酸：** < 0.1 %
- **主要なエッセンシャルオイル：**

ミルセン：	55 - 75 % (品種による)
フムレン：	8 - 15 % (品種による)
カリオフィレン：	5 - 10 % (品種による)
- **残留溶媒：** エタノール < 2 %
- **比重：** 0.8 g/ml (一般値)



株式会社 光洋商会

www.koyojapan.jp/

東京本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル8F
Tel: 03-3639-8555 Fax: 03-3667-9719

大阪支店 〒530-0002 大阪府大阪市北区曽根崎新地2-6-23 MF桜橋ビル10F
Tel: 06-6341-3119 Fax: 06-6348-1732

❖ 製品特性

□ 風味

ホップオイル-タイプドライは強いホップのアロマを、あるいはまたその添加量、手法、添加する段階によって、より微妙なホップのアロマを付与することができます。

アロマ以外にも**ホップオイル-タイプドライ**はホップの風味全体に影響を与えます。

このためホップの特徴を増強する目的で光安定性を持ったビール用途に最適です。

□ 収率

添加するタイミングや手法により、ホップオイルの収率は最大 80% までの範囲となります。これらの数値は、“製品の使用方法”と表題が付けられた項目の使用法に従ってホップオイルが使用された場合にのみ有効です。

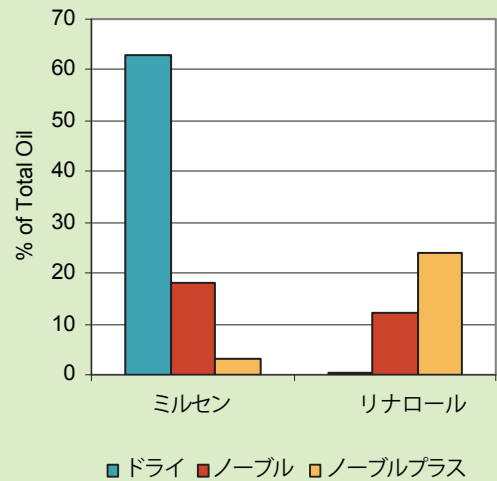
□ 品質

すべてのホップスタイナー®製品は、世界的な品質基準によって認定された工場で作られています。

□ 包装

ホップオイル-タイプドライは、純粋なホップオイル、またはエタノール、エタノール/水、プロピレングリコールによって希釈された製品として供給可能です。

ホップオイル製品の比較



❖ 製品の使用方法

□ 添加

ホップオイル-タイプドライはビール製造の異なる段階においての添加が可能です。

• ケトルへ：

低い収率となる。**ホップオイル-タイプドライ**とベータ酸のような“キャリア物質”とのブレンドは、収率を向上させます。

• 発酵前添加：

ホップオイルの揮発性物質がビールの発酵中に化学反応を起こし、酵母のアロマと合わさってビール特有の風味を生み出します。

• 発酵後添加：

フィルター前の直接添加は、ホップオイルを変質無しにビールに溶かし込むことができます。

後者の2つの添加の場合には、**ホップオイル-タイプドライ**をエタノールで1%に希釈しなければなりません。

□ 用量

添加方法により、ホップオイルの量は変化する：

- ケトルへの添加： 1–5 g/hl
- 発酵前添加： 0.5–2 g/hl
- 発酵後添加： 0.05–0.2 g/hl

上記の数値は一般的な目安です；実際に添加する場合は、必要とされるアロマの強さとその品質によります。 ブライトビールの中にマイクロリットル注射器を利用してオイルを注入する用量実験は、必要とするターゲット用量の目安を与えてくれます。（注：発酵前に添加する場合は、発酵条件の影響を考慮に入れなければなりません。）

□ 保存条件

ホップオイル-タイプドライは、スクリュートップのボトルに入れて 10℃以下で保管して下さい。 もしアルミボトル以外で保管する場合は、光への暴露を防いで下さい。

□ 賞味期限

ホップオイル-タイプドライの賞味期限は、推奨保管条件下で製造日より 1 年間です。

□ 安全性

もし製品が皮膚にふれた場合は、石鹼を用いて水で洗い落して下さい。 もし製品が目に入った場合は、十分な量の水で洗い流して医師の診断を受けるようにして下さい。 **ホップオイル-タイプドライ**は可燃物です。

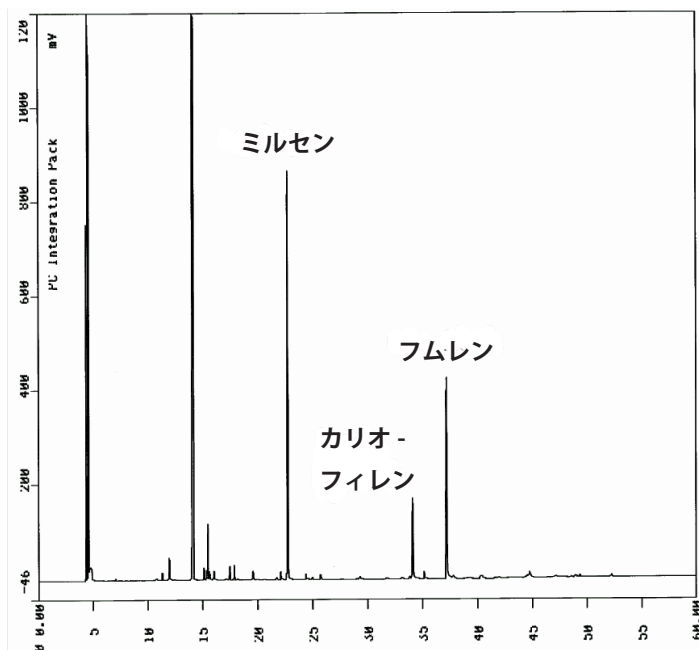
安全に関する完全な情報は、関連するスタイナー® 製品安全データシート (MSDS) をご覧下さい。

❖ 分析方法

□ ホップオイルの構成成分：

個々のホップオイルの成分分析にはガスクロマトグラフィーの技法が使用されます。 分析方法の詳細については、スタイナー社へのリクエストにより入手が可能です。

一般的なホップオイルのガスクロマトグラム



❖ テクニカルサポート

ご要望に応じて、全てのホップスタイナー® 製品について以下の製品情報の提供が出来ます：

- 関連する分析手順のコピー
- 製品安全データシート (MSDS)
- 試作の支援
- スペシャリストによる分析サービス

(原則として英文による情報提供となります。)